

令和7年度 美唄市予算(案)のポイント

1 予算総額

一般会計	195億9,515万6,000円	(前年度当初 194億7,892万8,000円)対前年度0.6%増
全会計	331億7,069万3,000円	(前年度当初 340億5,636万5,000円)対前年度2.6%減

※全会計(10会計)⇒一般会計、特別会計5会計、企業会計4会計

2 基本的な考え方

①「市民の暮らしを守ることを最優先にする」、②「事業の優先順位を見直す」、③「びばいの未来へ投資する」という3つの基本政策のもと、「第7期美唄市総合計画」に掲げる都市像の実現を目指し、5つの柱に沿って、各施策を推進します。

3 主な施策と事業

※(新規)＝事務事業インデックスに新たに登載する事業

1. ともに支え合い、安心して暮らせるまちづくり [福祉・保健・医療]	
●地域コミュニティ ・総合福祉センター整備事業 297,897千円 地域福祉の拠点施設としての適正な運営と安全安心な利用環境の整備を図るため、経年劣化した設備を更新するとともに、施設の長寿命化のための大規模改修(外部、機械設備、電気設備)を行います。 ●高齢者福祉 ・間口除雪事業(拡充) 18,637千円 市民ニーズの高い車道除雪後の間口の残雪処理について、これまで間口除雪事業の定義要件から除外していた歩道除雪路線を含めることとし、高齢者世帯の冬の在宅生活における支援を強化します。 ※拡充分:5,774千円	●保健 ・定期予防接種事業(拡充) 73,192千円 令和7年4月1日から带状疱疹ワクチンが予防接種法上の定期接種(B類疾病)の位置づけとなることに伴い、希望する対象者が速やかに接種できる体制を確保するとともに、接種費用の一部を公費負担します。 ※拡充分12,996千円 ●地域医療 ・美唄市病院事業(新病院建設) 214,748千円 令和6年度において実施している旧病院(車庫棟付属施設含む)及び仮設臨時発熱外来施設の解体工事に引き続き、旧駐車場の解体工事及び外構工事を実施します。
2. 地域資源を生かした「にぎわい」と「活力」あふれるまちづくり [農業・食と観光・商工業・移住・定住]	
●商工業振興 ・中心市街地元気創出事業 27,258千円 地域おこし協力隊によるイベント開催などにより、中心市街地の誘客促進や魅力向上を図るほか、官民一体となった取組に必要な「中心市街地活性化基本計画」の策定(2か年計画の2年目)に向け、引き続き、まちづくりに関する専門的な知見を持つアドバイザーの活用や北海学園大学研究室とのプロジェクトにより取り組みます。 ・スポーツビジネス起業化支援事業 57,900千円 北海道フロンティアリーグに加盟する「美唄ブラックダイヤモンド」の活動基盤の強化のため、引き続き、地域おこし協力隊や地域活性化起業人を活用した支援を行うほか、スポーツを契機とする市内ビジネスの活性化に取り組みます。 ・情報化人材育成事業 25,337千円 起業や情報産業の企業誘致を視野に、産業構造の高度化・情報化の進展等に対応できる情報人材・IT人材の育成を図るため、地域活性化起業人の活用によるオンライン講習や定期勉強会、ハッカソンの企画運営などに取り組みます。 ●雇用対策 ・地域人材開発センター運営事業 20,942千円 地域における労働者等の技能・技術習得の拠点施設としての利用促進を図るため、引き続き、経営安定化のための運営費を一部負担するほか、経年劣化により雨漏りが発生している実習棟屋根の葺き替えを実施します。 ●観光・交流 ・観光振興事業(拡充) 11,197千円 令和6年の札幌美唄会解散を契機として働き世代、若い世代にも参加可能な新たな親睦・交流の場を作り、美唄を訪れる交流人口の拡大や美唄ファンの増加に取り組みます。 ※拡充分:347千円(札幌交流会開催経費) ・ステイびばい交流推進事業 39,280千円 ・観光推進補助事業 7,000千円 美唄の認知度の向上や魅力発信力の強化による交流人口・関係人口の創出拡大を図り、魅力的な観光地づくりを推進するため、ステイびばいの運営支援を行うほか、地域資源を活用した観光の推進に資する取組に対し補助します。 ・美唄国設スキー場整備事業 5,492千円 令和9年度のリニューアルに向けた実施設計業務と併せ、利用者増のための企画立案に地域おこし協力隊を活用して取り組みます。	●地域情報化 ・行政DX推進事業(新規) 64,521千円 ・地域社会DX推進事業(新規) 40,380千円 人口減少・高齢化という社会構造の変化により多様化・複雑化する地域課題の解決に向け、引き続き、CIO補佐官の知見を活用しながら、「書かないワンストップ窓口」の実装や「自治体スーパーアプリ」の導入など、デジタル技術を活用した住民サービスの向上や行財政運営の効率化、地域社会におけるDXを推進します。 ●農業振興 ・農業用排水路整備事業 83,879千円 ・排水機場整備事業 158,651千円 排水機能の向上により安定した農業経営基盤と地域の安全性を確保するため、老朽化した排水路の柵渠や護岸を修繕するほか、国営、道営事業により造成した排水機場(茶志内、上美唄、開発、沼の内)の主原動機オーバーホールなどを実施し、施設の長寿命化を図ります。 ・美唄スマート農業推進事業 18,737千円 費用対効果の高いスマート農業を推進するため、地域活性化起業人を活用した取組のほか、北海道大学との連携検証事業の実施など産学官連携に継続して取り組みます。 ●農商工連携 ・農商工連携推進助成事業 7,900千円 市内の農業者と商工業者等の連携による美唄産の農産物を活用した新商品の開発や販路開拓等の取組に対して支援するとともに、さらなる活性化や持続的な発展に向け、新たに地域活性化起業人を活用して取り組みます。 ●移住・定住 ・移住・定住促進事業(拡充) 45,260千円 移住コーディネーターや定住支援員による移住相談窓口や空き家バンクの運営のほか、移住者に対する新築・中古住宅の購入費助成や家賃助成、通勤費助成などを行います。また、新たに、耐震基準を満たさない中古住宅に入居する際の家財処分・清掃費用等、軽微な住環境保全費用について助成します。※拡充分:300千円 ・結婚・新生活等支援事業(新規) 8,249千円 少子化の背景としての晩婚化・未婚化対策と併せ、地方での結婚とその後の出産を増やすことで都市部への人口流出に歯止めをかけることを目的に、新婚世帯に対し、家賃や引っ越し代等、新生活のスタートアップに係る費用の一部を助成するとともに、結婚支援事業者を活用する場合の費用の一部を支援します。

3. 地域に根ざし、暮らしに学ぶまちづくり [子育て・教育・文化]

●子育て支援

・放課後児童対策事業 61,696千円
放課後における児童の安全・安心な環境を整備するため、中央小学校区放課後児童施設、東小学校区放課後児童施設内に防犯カメラを設置し、防犯のほか、虐待防止、性被害防止対策に取り組みます。
※防犯カメラ一式：5,390千円

●学校教育

・地域と暮らしに学ぶ「農業科」推進事業(新規)
※「グリーン・ルネサンス推進事業」から事業名変更 1,300千円
豊かな心、社会性、主体性など、子どもたちの将来にわたる「生きる力」を育むため、農業の実体験活動やシンポジウムを農業者や高校生、地域関係団体等と連携して実施するなど、子どもたちが農業を通じて生命・環境・地域経済を学ぶ「農業科」の取組を推進します。

・美咲市高校等奨学金給付事業(拡充) 4,560千円
経済的理由により修学が困難な高校等に在籍する生徒に対し、修学に必要な経費の一部を奨学金として給付します。
※拡充分：720千円(月額8,000円から月額9,500円へ引き上げ)

・びばい・おいしい給食事業 79,893千円
美咲産の食材をより多く使用した「ふるさと給食の日」や学校行事と連携した「行事食」の実施など、地域や食文化、自然の恵みや勤労の大切さに対する児童生徒の理解を深め、学校給食を「食農教育」のための生きた教材として活用します。
また、子育て世帯の経済的負担の軽減を図るため、学校給食費無償化の取組を継続します。

・小学校コンピュータ更新事業(新規) 88,175千円
・中学校コンピュータ更新事業(新規) 59,058千円
更新時期を迎えたGIGAスクール端末を入れ替えるとともに、学校教育における1人1台端末の活用拡大を見据え、無線環境の増強を図るなど、ICTを活用した学習活動の充実に取り組みます。
・通学用自転車ヘルメット購入費補助事業(新規) 933千円

交通事故遭遇時における被害の軽減を図る観点から、児童生徒の自転車通学に対し、法令上は努力義務となっている自転車用ヘルメットの着用を学校として義務付ける場合、当該学校に通学する小学生及び中学生を養育する保護者に対し、自転車通学用ヘルメットの購入費の一部を助成します。

●生涯学習・スポーツ

・総合体育館整備事業 16,621千円
適切な管理運営と安全で快適な利用環境を提供するため、部品調達が困難となっている受電設備の更新を実施するとともに、各種大会の需要拡大を見据え、冷房設備の改修に向けた実施設計を行います。

・総合型地域スポーツクラブ活動支援事業(新規) 6,000千円
スポーツ基本法の規定に基づき国が策定した「第3期スポーツ基本計画」に掲げられている、今後取り組むべき施策や目標を踏まえ、地域に根差した生涯スポーツの振興を目指し、総合型地域スポーツクラブのスタートアップに対して支援します。

4. 人と自然が共生した安全・安心のまちづくり [自然・環境・都市基盤・安全安心]

●自然保護

・宮島沼自然環境保全基礎調査事業 13,798千円
「宮島沼について語る会」の開催のほか、地域おこし協力隊の活用による新たな視点での情報発信や生物多様性に配慮した自然環境の保全に取り組みます。
また、令和6年度に引き続き、「宮島沼幹線水路水質検査」を実施します。

●循環型社会

・ごみ運搬車整備事業(新規) 19,306千円
継続的かつ安定的なごみ収集運搬を推進するため、経年劣化したバッカー車1台を更新します。

●都市基盤整備

・都市計画街路整備事業 359,602千円
利便性や安全性の向上、生活環境の改善を図るため、市街地等における未改良・未舗装の道路や側溝の整備を行います。
・市営住宅利活用検討事業(新規) 1,980千円
人口減少や高齢化、設備の老朽化等により入居率が低下している市営住宅の入居促進を図るため、地域のニーズに合わせた新たな活用方法等について検討します。

●景観・緑づくり

・公園施設等再整備事業 27,968千円
公園利用者の安全と快適な環境を提供するため、経年劣化した公園遊具を更新するとともに、市内中心部に位置し集客しやすい中央公園に複合遊具を新たに設置し、より楽しんでもらえる公園として整備します。

●生活・交通

・地域公共交通活性化・再生総合事業 47,195千円
「美咲市地域公共交通計画」に基づき、地域の実情に即した輸送サービスの実現に向け、民間事業者やまちづくりと連携した持続可能な公共交通の整備に取り組みます。
その一つとして、目的地への最適ルートでの移動や乗車時間の短縮が期待できる新しい公共交通システムの構築を目指し、令和6年度から引き続きAIデマンドバスの実証運行を実施します。

・火葬場整備事業 9,053千円
使用耐用件数を超過している1号炉耐火物・耐火ベッド、経年劣化している動物炉操作盤などの火葬設備を計画的に更新します。
また、利用環境の向上を図るため、男女トイレの照明器具のLED化を実施します。

●防災・防犯・交通安全

・デジタル同報系防災行政無線整備事業(新規) 75,016千円
災害や武力攻撃事態等における被害を最小限に抑えるため、市民が自主的な判断により早期の避難行動を開始できるよう、必要な情報を迅速に一斉伝達するためのデジタル同報無線を整備します。

●消防・救急

・消防装備整備事業(新規) 550千円
道道美咲富良野線開通により、消防無線及び携帯電話の電波が届かない不感地帯が拡大したことを踏まえ、災害発生時における迅速かつ的確な対応に支障が生じないように、不感地帯においても消防本部通信指令室などとの通話が可能である衛星電話の更新を行います。

5. 市民が主役の誰もが活躍できるまちづくり [協働・行政改革]

●協働のまちづくり

・美咲シティプロモーション推進事業 37,618千円
シンボルを軸にした「美咲ブランド」の定着を目指し、情報発信の継続により市内外の認知度向上を図るほか、「美咲まちづくり大学」の開催によるまちづくり活動への参加機会の創出やコミュニティスペースの運営を通じたブランド発信力の強化、リアルクラウドファンディングの開催による伴走力の強化など、シビックプライドのさらなる向上に取り組みます。
・多文化共生推進事業(新規) 396千円
地域社会への外国人住民の参画と多様な担い手確保を図るため、国の「地域における多文化共生推進プラン」を踏まえた多様性と包摂性のあるまちづくりを目指し、総務省の「多文化共生アドバイザー制度」の活用により取り組みます。

・子どもとまちの未来会議運営事業(新規) 5,133千円
創造の重要性和喜びを体験する過程において、未来のまちづくりを担う子どもたちの地域への愛着の育みと豊かな学びの創出を目指し、子どもたち自らが考える取組に対して支援します。

●行財政運営

・庁舎整備事業 34,276千円
市民の安全安心な利用環境の整備を図るため、経年劣化した設備(真空式温水機2基・高圧ケーブル)を更新します。
・議会ICT化推進事業(新規) 2,508千円
「美咲市まちづくり基本条例」に規定された市議会の責務を果たすとともに、市民との情報共有や情報発信など議会機能の強化を図るため、議員活動全般で活用できるタブレット端末を導入します。